

トンネルに関する
調査表記入マニュアル

[D040] トンネル基本

この調査表は、トンネルの主要な諸元（トンネル分類、等級、延長、断面、非常用施設、他域延長、幅員、線形、舗装等）に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

- (1) データは次の単位で作成する。
 - 供用開始された1トンネル単位とする。
 - トンネルが1箇所において上下線等に分離されて設けられている場合は、分離されたトンネル毎に1トンネルとして取扱う。
 - 自動車専用トンネルと自転車歩行者専用トンネル別に分離されて設けられている場合は、分離されているトンネル毎に1トンネルとして取扱う。
- (2) トンネルに関する写真・図面類については「D041トンネル図面類」にて作成する。
- (3) トンネルに関する補修履歴等については「D042トンネル補修歴」にて作成する。
- (4) トンネル内の占用物件については「D043トンネル占用物」にて作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3
- (N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) トンネルコード：◆

トンネルコードについては以下の通り記入する。

- ・既存データを貸与されている場合は、既存データに記載されている値を記入する。
- ・既存データを貸与されていない場合は、未記入とする。

(Q) 分割区分C：◆

該当するトンネルの分割区分について、該当するコードを記入する。

区 分		コード
本線の 場合	上下線共用	0
	上り線	1
	下り線	2
自歩 転行 車者の ・専場 用合	自転車・歩行者専用	3
	歩行者専用	4
	自転車専用	5

(S) 名称：◆

該当する区間のトンネルの名称を、20文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字)で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

(T) 百米標自(km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(U) 距離自(m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(V) 百米標至(km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(W) 距離至(m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基

本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(Z) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ———> $\begin{matrix} \underline{361} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (3:昭和)} \end{matrix}$

(AA) 施設改修年度：◆

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は‘*’を記入する。

(記入例) 平成5年 ———> $\begin{matrix} \underline{405} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (4:平成)} \end{matrix}$

(AB) 一般有料区分C：◆

一般・有料の別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
一般（無料）トンネル	1
有料トンネル	2

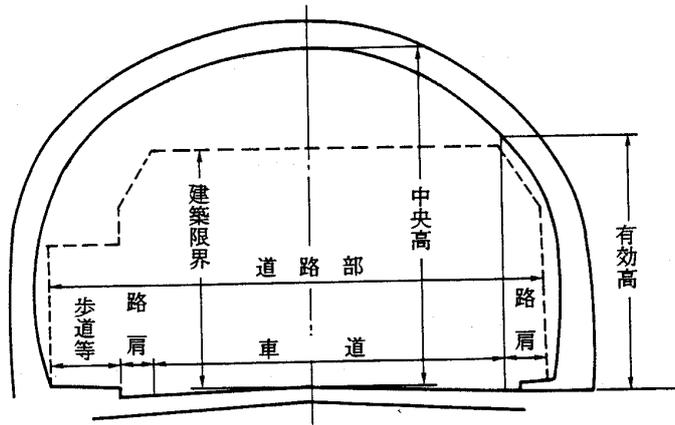
(AD) トンネル分類C：◆

トンネルの分類について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
陸上トンネル 掘進工法	1
開削工法	2
そ の 他	3
水底トンネル 掘進工法	4
沈埋工法	5
開削工法	6
そ の 他	7

注)

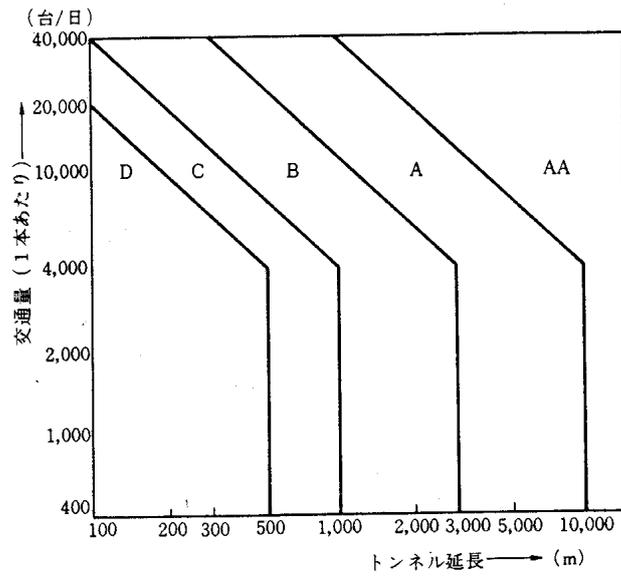
注) 水底トンネルとは、海、湖沼及び河川に設けられたものをいう。
シールド工法は掘進工法として取扱うこと。



(A0) トンネル等級C : ◆

トンネル等級区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
AA	1
A	2
B	3
C	4
D	5
その他	9



トンネル等級区分

(AQ) 交通量 (台/日) : ◆

トンネルの現況の交通量を記入する。

(記入例) N=5, 000台 ——> 5000

なお、自転車歩行者専用トンネルの場合、該当なしとして‘*’を記入する。

(AR) 壁面種類C : ◆

壁面種類について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	
内装なし 素 掘	1	注)
吹 付	2	
覆 工	3	
内装あり ブロック張り工法	4	
パネル張り工法	5	
タイル張り工法	6	
そ の 他	7	

注) 素掘とは掘削後地肌のままの状態のものをいい、吹付とは地肌をセメントモルタル等を材料として吹付工法により被覆しているものをいう。また、覆工とは地肌を被覆しているもので、吹付工法によらないものをいう。

(BC) 側壁巻厚 (cm) : ◆

側壁部の設計最小覆工巻厚を記入する。

(BE) アーチ半径 (cm) : ◆

アーチ部の半径を記入する。

(BH) 換気種別C : ◆

トンネル内の換気種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
自然換気	1
強制 (機械) 換気	2
そ の 他	9

(BJ) 換気方式C : ◆

強制 (機械) 換気の場合、換気方式区分について、該当するコードを記入する。自然換気の場合は‘*’を記入する。

区 分	コード
縦流式（噴流式）	1
縦流式（立坑式）	2
縦流式（その他）	3
半横流式	4
横 流 式	5
そ の 他	9

(BL) 換気台数：◆

強制（機械）換気の場合、換気機械の所要台数を記入する。自然換気の場合は‘*’を記入する。

(BM) 排水種別C：◆

トンネル内の排水種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
自 然 排 水	1 1	U型+暗渠排水	1 5
L型側溝排水	1 2	強制（ポンプ）排水	2 0
U型側溝排水	1 3	そ の 他	9 9
L型+暗渠排水	1 4		

(B0) 起点空頭防護施設有無C

(BQ) 終点空頭防護施設有無C

上記（B0）、（BQ）については、起終点の空頭防護施設の有無について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
無 し	0
有 り	1

(BX) 電話台数：◆

(BZ) 押しボタン台数：◆

(CB) 火災検知台数：◆

(CD) 警報表示台数：◆

(CF) 点滅灯台数：◆

(CH) 音信号台数：◆

(CJ) 誘導表示台数：◆

(D0) 検査数字自：◆

上記の市区町村に対し、「全国市町村要覧」を参照し、コード末尾の□内の数字を記入する。

(DP) 所在地自：◆

該当する区間の起点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(DQ) 市区町村至C：◆

トンネルの終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

（記入例） 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード：08403
（検査数字は含まない）

(DS) 検査数字至：◆

上記の市区町村に対し、「全国市町村要覧」を参照し、コード末尾の□内の数字を記入する。

(DT) 所在地至：◆

該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(DU) 他域市区町村C：◆

トンネルが市区町村界（都道府県界と重複している場合も同様）に設けられている場合にのみ、他の市区町村域に関してコードで記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。該当しない場合は「*」を記入する。

なお、3市区町村以上にわたって存在する場合の中間市区町村に係る分の取扱いについては起終点両側の市区町村において折半するものとする。

(DW) 他域検査数字：◆

上記の市区町村に対し、「全国市町村要覧」を参照し、コード末尾の□内の数字を記入する。
該当しない場合は「*」を記入する。

(DX) 他域延長：◆

トンネルが市区町村界（都道府県界と重複している場合も同様）に設けられている場合にのみ、他の市区町村域に関しての延長を記入する。該当しない場合は「*」を記入する。

(DY) 現況区分C：◆

トンネルの現況区分について、該当するコードを記入する。なお、通行制限がない場合は「*」を記入する。

区 分	コード
自動車通行不能	1
通行制限あり	2

(EA) 道路幅 (m) : ◆

道路部幅員（車道、路肩及び歩道等を加えた幅員）を、小数点以下2位まで記入する。

(EB) 車道幅 : ◆

(EF) 左側車道幅、(EK) 右側車道幅をプラスした車道部幅員を、小数点以下2位まで記入する。

(EC) 歩道等幅 : ◆

(ED) 左側歩道幅、(EM) 右側歩道幅をプラスした歩道等幅員を、小数点以下2位まで記入する。

(ED) 左側歩道幅 (m) : ◆

トンネル内の起点から見て左側の歩道等幅員（車道部と併設してある歩道、歩道＋自転車道および自転車歩行者道の幅員）を、小数点以下2位まで記入する。

(EE) 左側路肩幅 (m) : ◆

トンネル内の起点から見て左側の路肩幅を、小数点以下2位まで記入する。

(EF) 左側車道幅 (m) : ◆ 注1)

トンネル内の起点から見て左側の車道幅員を、小数点以下2位まで記入する。なお、車道幅員が明確でない場合は、車道と同一平面の路肩部分として片側25cmを車道幅員より差し引いたものと定義する。

(EG) 左側車線数 注1)

トンネル内の起点から見て左側の車線数を記入する。

(EH) 中央帯 (m) : ◆ 注2)

トンネル内の中央帯の幅員を、小数点以下2位まで記入する。

(EI) 中央分離帯 (m) : ◆ 注2)

トンネル内の中央分離帯の幅員を、小数点以下2位まで記入する。

(EJ) 右側車線数 注1)

トンネル内の起点から見て右側の車線数を記入する。

(EK) 右側車道幅 (m) : ◆ 注1)

トンネル内の起点から見て右側の車道幅員を、小数点以下2位まで記入する。なお、車道幅員が明確でない場合は、車道と同一平面の路肩部分として片側25cmを車道幅員より差し引いたものと定義する。

(EL) 右側路肩幅 (m) : ◆

トンネル内の起点から見て右側の路肩幅を、小数点以下2位まで記入する。

(EM) 右側歩道幅 (m) : ◆

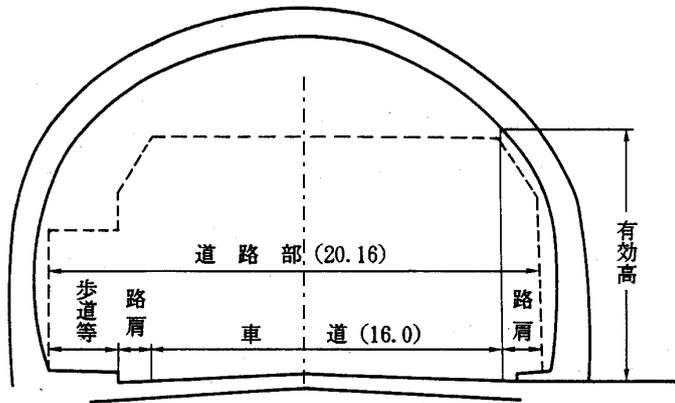
トンネル内の起点から見て右側の歩道幅員（車道部と併設してある歩道、歩道+自転車道および自転車歩行者道の幅員）を、小数点以下2位まで記入する。

注1) 上下線分離で1車線の場合

- ・(Q)分割区分=2(下り線) : (EF)左側車道幅、(EG)左側車線数にそれぞれの値を記入し、(EK)右側車道幅、(EJ)右側車線数は‘0’を記入する。
- ・(Q)分割区分=1(上り線) : (EF)左側車道幅、(EG)左側車線数は‘0’を記入し、(EK)右側車道幅、(EJ)右側車線数にはそれぞれの値を記入する。

注2) 上下線分離の場合

- ・(EH)中央帯、(EI)中央分離帯は‘0’を記入する。



(E0) 縦断勾配符号C

トンネル内の最急縦断勾配の符号コードについて、該当するコードを記入する。

区 分	コード
水 平	0
上 り	1
下 り	2

注)

注) 上りとは路線の起点側から終点側に向かって上っていることをいう。

(EQ) 縦断勾配 (%)

トンネル内の最急縦断勾配を、小数点以下1位まで記入する。なお、水平の場合は「0.0」を記入する。

(記入例) 下り5.414%の場合 ——> 5.4

(EU) 曲線半径 (m)

トンネル内の区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径 (R) を、小数点以下1位まで記入する。
なお、曲線区間が複数個存在する場合には、最小曲線区間の部分について記入する。曲線区間がない場合は「*」を記入する。

(EW) 舗装種別C : ◆

トンネル内の舗装種別について、該当するコードを記入する。なお、歩道と車道を併設されている場合は車道部について記入する。

区 分	コード	区 分	コード
未 舗 装	1	インターロッキング系	6
コンクリート系	2	透水性As系	7
アスファルト系	3	排水性As系	8
平板ブロック系	4	そ の 他	9
Asブロック系	5		

(EY) 舗装厚 (m)

トンネル内の舗装厚 (路床面から路面までの厚さ) を、小数点以下2位まで記入する。

(FA) 照明有無C : ◆

トンネル内の照明の有無について、該当するコードを記入する。

(B0) 起点空頭防護施設有無Cのコード表と同様。

(FF) ロードヒート有無C

トンネル内及び出入口のロードヒーティングの有無について、該当するコードを記入する。

(B0) 起点空頭防護施設有無Cのコード表と同様。

(FK) 備考1

特記事項について50文字以内の日本語で記入する。

(FL) 備考2

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

[D042] トンネル補修歴

この調査表は、トンネルの補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「D040トンネル基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (G-1) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) トンネルコード：◆

トンネルコードについては以下の通り記入する。

- ・既存データを貸与されている場合は、既存データに記載されている値を記入する。
- ・既存データを貸与されていない場合は、未記入とする。

(Q) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年を記入)

(記入例) 1976年12月 ——> 197612

(R) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
舗装		照明設備	
全面 打替え	101	取替え	601
全面 オーバーレイ	102	部分修復	602
部分 打替え	111	その他	690
部分 オーバーレイ	112	排水設備	
その他	190	取替え	701
覆工		部分修復	702
セメントによる補強	201	その他	790
内巻による補強	202	監視制御設備	
覆工背面の注入による補強	203	取替え	801
押え盛土、保護切り取り	211	部分修復	802
インバートの設置	212	その他	890
裏込め注入	213	通報装置	
鋼アーチ支保工、内巻き等による補強	214	取替え	911
漏水の誘導排水	221	部分修復	912
耐酸性セメントによる水密性コンクリートの打設	222	その他	919
セメントモルタルや薬液の注入	223	非常用警報装置	
覆工内面の防水モルタルの塗布	231	取替え	921
または吹き付け		部分修復	922
覆工内面の排水工の設置	232	その他	929
その他	290	消火設備	
受変電設備		取替え	931
取替え	301	部分修復	932
部分修復	302	その他	939
その他	390	避難誘導設備	
予備電源設備		取替え	951
取替え	401	部分修復	952
部分修復	402	その他	953
その他	490	その他設備	
換気設備		取替え	941
取替え	501	部分修復	942
部分修復	502	その他	949
その他	590	その他	999

(T) 備考

損傷原因等について30文字以内の日本語で記入する。

[D043] トンネル占有物

この調査表は、トンネル内の占有物件に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「D040トンネル基本」の作成単位毎とする。
- 占有物件毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) トンネルコード：◆

トンネルコードについては以下の通り記入する。

- ・既存データを貸与されている場合は、既存データに記載されている値を記入する。
- ・既存データを貸与されていない場合は、未記入とする。

(Q) 占有物件種別C

占有物件種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
上 水 道	1 1	ガ ス	1 7
工 業 用 水 道	1 2	道 路 情 報 板	1 8
農 業 用 水	1 3	道 路 標 識	1 9
下 水 道	1 4	通 信 ケーブル等	5 3
電 力	1 5	I ・ T ・ V	5 4
電 話	1 6	そ の 他	9 9

(S) 寸法

- ・ 電力及び電話については、条数と段数を記入する。
- ・ 道路情報板・道路標識及びI T Vの場合は‘*’を記入。
- ・ これら以外については公称径（φ）をmm単位で記入する。

（記入例－1） 「上水道 φ200」の場合 ——> 2 0 0

（記入例－2） 「電力 3条5段」の場合 ——> 0 3 0 5

(T) 管理者名

占有物件の管理者名を、10文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/3

D040：トンネル（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
トンネルコード	半角4文字		○	○
分割区分C	半角1文字		○	○
名称	全角20文字		○	○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦	○	○
一般有料区分C	半角1文字		○	○
トンネル分類C	半角1文字		○	○
トンネル工法C	半角2文字			○
完成年次	999	和暦	○	○
トンネル延長	99999.9	m	○	○
建築限界高	99.99	m	○	○
中央高	99.99	m	○	○
有効高	99.99	m	○	○
トンネル等級C	半角1文字		○	○
交通量	99999	台/日	○	○
壁面種類C	半角1文字		○	○
側壁巻厚	999	c m	○	○
アーチ半径	99999	c m	○	○
換気種別C	半角1文字		○	○
換気方式C	半角1文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D040：トンネル（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
換気台数	99		○	○
排水種別C	半角2文字		○	○
起点空頭防護施設有無C	半角1文字			○
終点空頭防護施設有無C	半角1文字			○
電話個数	999		○	○
押ボタン個数	999		○	○
火災検知個数	999		○	○
警報表示個数	999		○	○
点滅灯個数	999		○	○
音信号個数	999		○	○
誘導表示個数	999		○	○
排煙個数	999		○	○
避難通路個数	999		○	○
消火栓個数	999		○	○
消化器個数	999		○	○
給水栓個数	999		○	○
無線通信個数	999		○	○
再放送個数	999		○	○
拡声放送個数	999		○	○
水噴霧個数	999		○	○
I T V 個数	999		○	○
非常用電源設備個数	999		○	○
非常駐車帯個数	999		○	○
方向転換個数	999		○	○
自動通報装置型式	半角26文字			○
自動通報装置個数	99		○	○
市区町村自C	半角5文字		○	○
検査数字自	半角1文字		○	○
所在地自	全角30文字		○	○
市区町村至C	半角5文字		○	○
検査数字至	半角1文字		○	○
所在地至	全角30文字		○	○
他域市区町村C	半角5文字		○	○
他域検査数字	半角1文字		○	○
他域延長	99999	m	○	○
現況区分C	半角1文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D040：トンネル（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
道路幅	99.99	m	○	○
車道幅	99.99	m	○	○
歩道等幅	99.99	m	○	○
左側歩道幅	99.99	m	○	○
左側路肩幅	99.99	m	○	○
左側車道幅	99.99	m	○	○
左側車線数	9			○
中央帯	99.99	m	○	○
中央分離帯	99.99	m	○	○
右側車線数	9			○
右側車道幅	99.99	m	○	○
右側路肩幅	99.99	m	○	○
右側歩道幅	99.99	m	○	○
縦断勾配符号C	半角1文字			○
縦断勾配	99.9	%		○
曲線半径	99999.9	m		○
舗装種別C	半角1文字		○	○
舗装厚	9.99	m		○
照明有無C	半角1文字		○	○
ロードヒート有無C	半角1文字			○
備考1	全角50文字			○
備考2	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

D042：トンネル（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
トンネルコード	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角3文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

D043：トンネル（占用物）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版	中国版
			SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
トンネルコード	半角4文字			○
占用物件種別C	半角2文字			○
寸法	9999			○
管理者名	全角10文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照